

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
動作語学習カード	中	ことば・かず (国語)	中川典子

<ねらい>

- 動作やイラストを見て、正しい動作語を答えたり、カードを選び取ったりすることができる。
- 日常生活場面でのコミュニケーション力を高める。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

○作成方法

- 何度も学習できるように、ラミネートフィルムを使用した。
- 黒板に提示して使用するため、裏面にはマグネットをつけた。
- 目的語カードには、「〇〇に(を)」など、助詞も含めて作成した。

○使用方法

① 動作のイラストと動作語カードを結びつける学習

- 黒板に提示された1枚のイラストを見て、動作語カードを答えたり、複数枚の中から選んで貼ったりする。
- 5枚のイラストが提示された状態で、同様に取り組む。

② 動作のイラストと目的語カード+動作語カードを結びつける学習

- ①の学習を繰り返し、理解が進んだあとに取り組んだ。
- ①の使用法と同様、提示するイラストの枚数や選択する文字カードの数を徐々に増やして取り組んだ。

- イラストと目的語カードが提示された状態を見て、動作語カードを貼る。

- イラストを見て、目的語カードと動作語カードを選んで貼る。
など、提示方法にもバリエーションをもたせた。

- 文字を読むことが難しい生徒には、教師は文字を読んで伝えるようにするなど、生徒の実態に応じて取り組むようにした。

○工夫点

- 何をしているのかわかりやすいイラストを使用し、言葉が出やすいようにした。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- 教師が実際に動作を演じることにより、興味をもって見ていた。また、自分で演じて他の生徒に何の動作を演じたかを出題する生徒もいた。
- 今回の学習によって、動作語に対する関心も生徒たちに広がったように感じている。

<その他(材料、費用、購入先等)>

- イラストや文字カード、ラミネートフィルム、マグネット